

番傘川柳本社 4月句会

日時 令和7年4月6日(日)
会場 たかつガーデン
出席 森 茂俊 60名
司会 西 美和子
呼名復唱 柴田 桂子
記名清記

春の醍醐味、今まさに桜は満開です。各地で、お花見句会が催されています。本日は生駒市から鈴木のお様が初出席してくださいました。引き続きのご参加をお願いいたします。大阪・関西万博の十三日開幕を控え六日には舞洲でテストランが行われました。混雑や熱中症対策など数々の問題点があるようですが改善へ向けて動いておられるようです。また、トランプ大統領の相互関税発

表の余波は景気の先行きに不透明感を増すばかりです。本日の席題は「シヨック」選者からトランプの句ばかりだとの苦言がありました。不安な影が付き纏います。句会に先立ち、主幹からくれぐれも健康に留意され、川柳を大いに楽しんで下さいとのお話がありました。筍、木の芽、菜の花、芝桜、雪柳、ネモフィラなど、舌も目も楽しませてくれます。柔らかない川柳が詠まれそうです。

席題 シヨック 島田 握夢 選

お隣の夫婦が男知らなんだ
ただいまと言えば妻からあんただれ
嘘やうあのマドンナがまるでトド
水が出るだけで喜ぶ能登の民
人体にシヨックをかけて甦る
本命の馬がいきなりの落馬
あれれれれ暗証番号出てこない
内視鏡に押された癌の太鼓判
あれそれで言葉が出てこないシヨック
貞淑な妻がまさかの朝帰り
失恋のシヨックに効かぬサロンプス
ハクシヨンしたらギックリ腰になりました

下林 正夫
原田 正士
谷口 東風
田中 利一
山藤 聖子
樋浦 桜竜
柴田 園江
大塚のぶよし
荻野 浩子
田中美弥子
沼田 捷二
原田 正士

何でやのお米の棚が空いている
楽しみに集めた趣味が今はゴミ
やすらぎの里から悲鳴洩れてくる
湯けむりへシヨック曲線曲がりすぎ
デリカシーない言の葉に胸いたむ
子沢山なのに家業をみな嫌う
顔パスも効かなくなつてキャッシュレス
嘘でしょう実の父知り座り込む
いきなりブラックシヨックをかまされるなんて
毎朝の鏡わたしじゃありません
元彼が医者になってたクラス会
適当に作った一句だけ抜ける
僕の親友が母さんの彼氏
別れようまさかあなたが言うなんて

柴田 園江
辻部さと子
桑原すゞ代
小山恵美子
阪本 秀子
奥野健一郎
柴田 桂子
鈴木 栄子
樋浦 桜竜
岩田 明子
山本さくら
稲葉 良岩
中岡千代美
林 ともこ

効きました父の拳固で目を覚ます
振られて二年立ち直れずにまだひとり
何処さがしても無いへそくり百万
白菜とキャベツ買ったらはぼ千円
先生の見てしまったよつまみ食い
亡父の女を通夜で初めて見たシヨック
自撮りした正面からの顔を見る
長男が長女になって帰省した
両拳ふるわせ耐えているシヨック
余命知る夫の口数日目に減り
更新に行き返納を勧められ
ばくよりも若いシヨックだな計報
検眼表一番上がよく見えぬ

北川ヤギエ
倉 周三
田中美弥子
奥野健一郎
三好 聖水
大堀 正明
稲葉 良岩
穂山 常男
井本 健治
大塚のぶよし
田中 利一
油谷 克己
島田 握夢

宿題 そっけない 鈴木 栄子 選

三カ月そろそろ毒が回りだす
嫁入りの着物グラムで買い取られ
そっけないやり取りでした離縁状
待つ人に郵便受けはそっけない
ハイ了解だけは返事をくれるけど
好きなのにわざとつれない態度とる
人前でわざとそっけない夫
プロポーズしたらブイッと横を向く
箸休めばかりで会席が終わる
返信のメールはいつも待ちぼうけ
興味ないことには人はスルーする
手ぶらには見向きもしない奈良の鹿
素っ気ない振りして腹を読んでいる
報告書できたかそこへ置いていて
ここ痛い言え一言加齢です
花束へお金が良いと誕生日
酔ったふりへ気付かないふりしています
画面見て切りましょかと若い医者
曖昧に濁しフイットと目を逸らす
トンツーとあなたは今日も話し中
生きてるで子らのメールのそっけなさ
買い取ります母の形見もワンコイン

井本 健治
西 美和子
林 ともこ
八木 幸彦
中岡千代美
湯澤 孝扇
林 ともこ
倉 周三
正信寺尚邦
阪本 秀子
阪本 秀子
高橋 裕樹
荻野 浩子
北川ヤギエ
倉 周三
森 茂俊
中岡千代美
吉富ひろし
柴田 桂子
桑原すゞ代
穂山 常男
山本さくら

宿題 顔 池田 武彦 選

念入りの化粧へ猫もそっぽ向く
反応をうかがうそっけない視線
てきばきが過ぎる窓口そっけない
手造り料理旨いとも不味いとも
妻子から戦力外とにべもない
怒りまだくすぶるそっけない言葉
夕食に足りないものは会話だけ
老いふたり夫婦喧嘩の種も無い
おはように電子レンジがチンと鳴る
キッチンに僕にかみさん知らん顔
そっけない風に独りが揺れ動く
愛想ないが客の好みを知っている
終わったら帰っていいよじゃまたな
何を言ってもフンとしか返らない
卒業の無い人生の長い旅
ロボットが運ぶお刺身味気ない
ごめんとも言わず値上げの勢ぞろい
あっそうかだけの父だが嬉しそう

森 茂俊
田中 新一
辻 肇
森 廣子
掃部 博隆
荻野 浩子
鈴木のりお
山本さくら
鈴木のりお
岩田 明子
田中 新一
田中 利一
北川ヤギエ
片岡 加代
辻部さと子
楠木 晃朗
銭谷まさひろ
鈴木 栄子

百歳を超え仙人のような顔
別れと出合い四月の顔は生乾き
悲しげな顔で咲いてる白椿
地道な努力やっと私の顔になる

片岡 加代
小川賀世子
湯澤 孝扇
掃部 博隆

宿題 顔 池田 武彦 選

外面は良いが家面あかんたれ
肩書が取れるとものに顔に歳
たけのこの皮剥ぐ過去が顔をだす
鼻が低くすぐにメガネがずり落ちる
顔顔笑い弾ける新喜劇
本当の顔は誰にも見せられぬ
嫌ってた父にだんだん似る鏡
ふるさとを語る無邪気な顔になる
不揃いの顔ぶれ実に馬が合う
紛争地仏の顔に泥を塗る
サヨナラを言う横顔に惚れ直す
目の前の顔が鏡になっている
その顔が身近にあると安らぐの
この頃は鏡のぞくとそこに母
卑下せずに生きる親からもろた顔
強面もニコニコ笑顔孫にだけ
ほっぺにチュ天使のような孫寝顔
湯上りにほんのりピンク妻の顔
顔見知りただそれまでのおつき合い
物価高苦しい顔みせる財布
目鼻だち父親に似てホッとする
顔見れば途端に怒り消えている
怒ると怖い顔が笑うとえびす顔
横のものの縦にもせずにかい顔

小上 元武
片岡 加代
神田 良子
北川ヤギエ
田中 薫
本田 智彦
正信寺尚邦
菱木 誠
柴田 園江
沼田 捷二
森 茂俊
田中 新一
松本 征子
小寺八重子
鈴木 栄子
小寺八重子
原田 正士
西上 遊二
林 ともこ
小山恵美子
湯澤 孝扇
本田 智彦
西田 育弘
沼田 捷二

十八歳これから大人の顔をする
狸と狐一枚岩の顔をする

掃部 博隆

ルックスにDNAを刻んでる

井本 健治

歳重ね顔に苦勞の笑いジワ

阪本 秀子

ナイターの結果がわかる朝の顔

小林 正夫

ご先祖に顔向けできぬ墓終い

穂山 常男

顔役がいるから回る趣味の会

正信寺尚邦

とびきりの笑顔は君にさしあげる

八木 幸彦

にこにこ笑う遺影と話し込む

桑原すゞ代

したたかさ淑女の面で世を渡る

田中 新一

笑顔ってみんなを包む包装紙

田中美弥子

長生きだいつもにこにこえびす顔

林 ともこ

宿題 追 う

松本 柎子 選

一行詩水府恵美子の背を追う

池田 武彦

白球を追う汗の青春泣き笑い

原田 正士

捨てきれぬ極彩色を追いかける

掃部 博隆

追いつめてホントの空を見失う

井本 健治

追って来た夢がカタチになる兆し

桑原すゞ代

逃げたって無駄あの世まで追いかける

小川賀世子

親鴨に子鴨必死で従いて行く

鈴木 栄子

泣きながら母を追う兄に息詰まる

山藤 聖子

追っている時は美人に見えた人

吉富ひろし

夢を追いつ書き続ける私小説

山本さくら

夢を追いつ書き続ける私小説

下岡 昌美

ひたむきに亡父の背中を汗が追う
追いかけた夢が破れてちぎれ雲

大塚のぶよし

深追いはよそう時間が無駄になる

辻 肇

また増えた葉が僕を追ってくる

三好 聖水

卒寿でもまだまだ夢を追いかける

山本さくら

わたしのバカ追っていたのはこんな物

鈴木 栄子

追憶の面影夢に現れる

中岡千代美

思い出が挑んだ山の数を追う

油谷 克己

満開の花を無情の雨が追う

仕田原恒雄

虹を追いつ未完のままの人生譜

田中 薫

追いかけるもの一つ消え二つ消え

小川賀世子

マイナス思考貧乏神が追うて来る

田中 新一

いつの日か父に追いつく三輪車

田中 薫

ライバルにひたひた迫る靴軽い

穂山 常男

あと少し追ってみようとか決めた夢

阪本 秀子

ふる里を追われナニワに根を下ろす

森 廣子

追いかける人でもないか知っている

柴田 桂子

身の丈に合った幸せ追いかける

神田 良子

追い風を受けて冥土が近くなる

本田 智彦

少年は結局父の背を追う

井本 健治

夢を追う人に見事な虹が立つ

銭谷まさひろ

五行の後姿を追うさくら

八木 幸彦

五十五年追いつ追われつ良き夫婦

菱木 誠

五十五年追いつ追われつ良き夫婦

菱木 誠

さああなた急ぎましようよ日が落ちる
本物を求めて旅が終わらない

桑原すゞ代

トリセツを追うほど迷路深くなる

片岡 加代

もうええやん追うから逃げる青い鳥

岩田 明子

死ぬまでの一句を今日も追いかける

沼田 捷二

散り急ぐさくら美意識抱き締めて

田中 新一

宿題 目立つ

松本 柎子

反対と一目でわかる大欠伸

中岡千代美 選

自分らしく咲きたい目立つのはクライ

奥野健一郎

看板は目立ってなんぼ戎橋

荻野 浩子

隠してもボンキューボンのわかる服

山本さくら

二度見するセーラー服の喉仏

原田 正士

花嫁より目立つ司会者超美人

西 美和子

素っぴんで来てもマドンナはマドンナ

倉 周三

目立つけど痛くは無い鼻ピアス

柴田 園江

後樂園の巨人ファンはみな紳士

森 廣子

里山に一本だけの山桜

楠木 晃朗

真っ白になりたい雪国のカラス

森 茂俊

目立つ服自分以外になる遊び

井本 健治

プロだもの目立ってなんぼ割り切ろう

小山恵美子

サンガラス取らぬ女が通夜の席

油谷 克己

もう許す親もワクワク目立つ腹

柴田 桂子

宝塚ライダダンスが目痛

沼田 捷二

宝塚ライダダンスが目痛

掃部 博隆

MRこれみよがしに燐光る

目立たぬ様にそつと立ち去るそんな時

そんだけ金ピカやとさすがに判るわ

思い切り出れば打たれぬ釘もある

参観日ママが一番きれいだな

華やかなオーラでハートわし掴み

勝負服機先制する派手を着る

声でかいだけで存在感がある

クラスでは目立たなかった名子役

鏡見るたびに気になるとこばかり

はめられる時だけ目立つ生き上手

アリバイを作りたいから赤い服

楚楚としてグレーヘヤーの上品さ

真っ白な車に黄砂降りかかる

靴左右色違いですよく目立つ

恥じらいが却って目立つあ乙女

菜の花と桜互いに引き立てる

桜色のベレーにルージュは紅く引く

主役は無理でも面白い脇役だ

ばあちゃんほど派手転べばすぐ判る

光るから青い意見に目が尖る

電車内スマホを閉じて本を読む

大きくなりました男の子みたいです

西 美和子
森 廣子

樋浦 桜竜

吉富ひろし

林 ともこ

阪本 秀子

松本 柊子

山藤 聖子

大堀 正明

田中 新一

八木 幸彦

銭谷まさひろ

林 ともこ

銭谷まさひろ

谷口 東風

西上 遊二

田中 薫

鈴木のりお

池田 武彦

岩田 明子

小川賀世子

菱木 誠

桑原すゞ代
中岡千代美

宿題 春だから

片岡 加代 選

温燭で菜の花漬けと木の芽和え

鈍行で行こうか春の一人旅

大和路線さくらひとひら乗車する

あやまちを待ってるような春の宵

さり気なく赤い下着でお花見へ

ブラ散歩しゃれた茶店でヨモギ餅

ワカタケに木の芽を添えて進む酒

西行に焦がれ河童忌桜桃忌

新人アナどうもどうもと顔揃う

そうめんをそろそろ用意しようかな

途中下車してみたくなる花日より

編みかけのセーター春に欠伸する

背伸びして恋でもするか春だから

春だからホラを吹いても許される

花冷えの街へ値上げの矢が刺さる

物忘れめつきり多くなつて春

花追って西へ東へスニーカー

いぬふぐりペンペン草も美しい

春だから雲雀は上がるとこまでも

卒業を控えばちばち髪のはす

聞きたくはなかった別れのあいさつ
春だからたまごサンドとアイスティ

森 茂俊

山本さくら

原田 正士

三好 聖水

森 茂俊

北川ヤギエ

楠木 晃朗

正信寺尚邦

沼田 捷二

岩田 明子

林 ともこ

神田 良子

辻 肇

八木 幸彦

銭谷まさひろ

井本 健治

田中美弥子

柴田 園江

仕田原恒雄

島田 握夢

樋浦 桜竜
中岡千代美

菜の花をさつと湯搔いて春の膳

春だからティッシュ目薬鼻炎薬

ポチとマ共にくしゃみが止まらない

葉桜になったら逢いに行くつもり

イヤホンからさくらのソング十二曲

人間も花も大きく伸びをする

春うらら花見のはしごしてみるか

春だから寒い話しは棚卸し

金婚がちよこんと並び日向ぼこ

派手なシャツちよつと冒険春だから

口紅も淡くしてゆく春だから

ぽかぽかへ発芽しそうな恋心

春が来てやっと戻ったブーメラン

母の哲学聞きながら逢餅

桜ハラハラ全許して笑おうか

次々と慌てて咲いた花ばかり

ランドセル背負うと孫もそれなりに

春うらら妻の声音も丸くなり

なんば言うても朝帰りする春の猫

春だから亀も私も用意ドン

この時季はいつもぼーっとしています

また畏にはまってみすだつて春
新聞もテレビも四月からの顔

奥野健一郎
稲葉 良岩

谷口 東風

松本 柊子

原田 正士

田中 新一

田中 薫

穂山 常男

島田 握夢

田中 薫

鈴木のりお

鈴木 栄子

森 廣子

小川賀世子

柴田 桂子

楠木 晃朗

松岡 篤

大塚のぶよし

正信寺尚邦

森 廣子

辻 肇

高橋 裕樹
片岡 加代